

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

**研究の名称；** 外科的矯正治療における上下顎同時移動術での顔面軟組織形態および歯列形態の変化について (承認番号 EC17-023 )

**研究機関・講座；** 日本大学松戸歯学部・歯科矯正学講座

**研究責任者；** 専任講師・斎藤勝彦

**研究期間；** 平成30年1月～平成35年1月

### 1. 研究対象者

2006年4月～2017年10月までの間に本付属病院矯正科にて顎変形症と診断され上下顎同時移動術により矯正治療を受けられた方

### 2. 研究目的・意義

顎変形症における顔面硬軟組織および歯列の形態的特徴を理解することは、外科的矯正治療における診断および治療計画の立案において重要です。このため外科的矯正治療後の顔面硬軟組織および歯列の変化について詳細に調査し解明します。

### 3. 方法

顎変形症症例の頭部X線規格写真(側面、正面、軸位)、顔面写真(側面、正面)および口腔模型を用い、距離計測および角度計測を行います。頭部X線規格写真(側面、正面、軸位)、顔面写真(側面、正面)および口腔模型の計測は外科手術術前、外科手術術後の資料を用います。得られたデータの分析を行い、顎変形症症例の顔面硬組織、顔面軟組織および歯列の形態的特徴と外科的矯正治療後の変化について解析します。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

**情報；** 情報：診療録情報(年齢・性別・診断名 等) 側面頭部X線規格写真、正面頭部X線規格写真、軸位頭部X線規格写真、顔面写真、口腔模型

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・歯科矯正学講座・専任講師・斎藤勝彦

電話番号：日本大学松戸歯学部付属病院 管理課 047-360-9511

-----以上